

Press Release



<<報道資料>>

2013年12月20日

日本コンピュウェア株式会社

多数の米国トップ小売店におけるモバイルパフォーマンス、 ホリデーショッパーの期待に届かず

2013年ホリデーショッピング・シーズンの開幕早々、 モバイルショッピングが急増

※当資料は、コンピュウェアコーポレーションが米国時間2013年12月5日に発表した報道資料の抄訳です。

※本文中のリンク先のページはすべて英語表記です。

米国ミシガン州デトロイト - 2013年12月5日発表 - コンピュウェアコーポレーション(NASDAQ: CPWR)は、本日、今年のホリデーショッピング・シーズンのスタート期におけるモバイルパフォーマンスについて、主な3つの傾向を発表しました。これは2013年のThanksgiving Day(感謝祭—11月28日)からCyber Monday(サイバーマンデー:感謝祭翌週の月曜日—12月2日)までの米国のトップ小売店のモバイルパフォーマンスを分析したものです。これらの傾向により、今後のホリデーショッピング・シーズン中におけるモバイルパフォーマンスの重要性や、ビジネスに及ぼす影響が明らかになっています。この分析の詳細に関しては、[こちら](#)をクリックしてください。

Adobe社によると、感謝祭とBlack Friday(ブラックフライデー:感謝祭翌日の金曜日—11月29日)の記録的なオンライン販売結果に続き、サイバーマンデーにはオンライン販売が22億9000万ドルに達しました。これは2012年と比較して16%増です。また、モバイル端末の注文による売上は記録的な18.3%に達しており、これは2012年と比較して80%増です。

Compuware APMは自社の[グローバルモニタリングサービス](#)で、感謝祭からサイバーマンデーまでの米国トップ小売店のモバイルパフォーマンスを測定し、下記の傾向を明らかにしました。

傾向1:モバイルショッピングの急増

モニタリング対象の小売店サイトに対するモバイル端末トラフィックは、感謝祭の夕方に急増し始め、サイバーマンデー終日まで継続しました。ブラックフライデーとサイバーマンデーのオンラインショッピングの販売量は、感謝祭以前と比較すると、それぞれ89%増、87%増でした。一部の小売店は需要拡大に向けてサイトを最適化していましたが、多くはスマートフォンやタブレットを用いた消費者からのトラフィック拡大に対する対策ができていませんでした。

傾向2:モバイルパフォーマンスは後れを取り続けている

アメリカの市場調査会社であるHarris Interactive社が実施した[消費者調査](#)では、スマートフォンおよびタブレットのユーザーの37%はレスポンスタイムが3秒を超えるとそのサイトを離脱し、競合他社へ流れることが明らかになっています。弊社のデータでは、感謝祭からサイバーマンデーまでの期間、ショッピングにおけるページロード時間は平均10秒を超え、また、ホームページへのアクセスから、検索の実行、製品説明の閲覧、商品のショッピングカートへの追加、注文の確認で構成さ

れる複数ステップのトランザクションまでを完了する平均時間は 18 秒を超えていました。ページロード時間が長くなるにつれ、ページ離脱率も増加し小売店の売上損失につながっています。

傾向 3: モバイルサイトの最適化が進んでいるほど実績が良い

Compuware APM は、小売店サイトが提供するコンテンツの量(バイト数)、ページの複雑さ(オブジェクトの数)、およびサイトへ寄与しているサードパーティの数(ホスト数)を分析しました。この結果、重要なページが過負荷状態にあり、各ページを完了するためのバックエンドサーバへの迂回が多いすぎ、多くのサードパーティに頼りすぎているため、モバイル端末の動作を非常に遅くしていることが明らかになりました。最適化されたページは、パフォーマンスの面で常に勝利を収めています。

コンピュウェアの APM 事業部のゼネラルマネージャである John Van Siclen は次のように述べています。

「今年、モバイルサイトのパフォーマンスはホリデーショッピング・シーズンのスタート期の売上に直接影響しました。簡単に言うと、サイトが高速であればあるほど売上が大きいのです。シーズンの残りの期間、小売店は増加するモバイルショッパーのトラフィックを引き寄せるために、モバイルサイトとアプリケーションを最適化したいと考えるでしょう。モバイルユーザが期待する、スムーズで高パフォーマンスなショッピング体験を提供する必要があるからです」

3つの主要傾向の詳細およびこれらのピークのショッピング期間における小売店のモバイルサイトのパフォーマンスの詳細な分析に関しては、[Compuware APM ベンチマークページ](#)をご覧ください。

■ Compuware APMについて

Compuware APM は、新世代のアプリケーションパフォーマンス管理のリーディングソリューションです。従来の APM ソリューションが、動作が重く、使いづらく、リアクティブであるのに対して、Compuware APM は軽く、使い易く、プロアクティブに問題に対処できるシステムです。

Compuware APM は、モバイル、クラウド、ビッグデータ、SOA を含めた、複雑化する最新のアプリケーションを管理できるように作られています。大企業から中小企業まで 5,000 社を超える企業が、Compuware APM を利用し、数万におよぶアプリケーションを最適化し監視しています。企業は、実際のエンドユーザ体感を理解することにより、より洗練された分析機能、先進的な自動化、パフォーマンスライフサイクルの基礎を活用し、パフォーマンスの向上、プロアクティブな問題解決、アプリケーションリリースの短縮、アプリケーション管理コストの削減を実現しています。

APM 市場におけるコンピュウェアのリーダーシップについては、[こちら](#)に詳しく記載されています(英語)。

■ コンピュウェアコーポレーションについて

コンピュウェアは、「The Technology Performance Company」として、IT が問題なく稼働し、ビジネスに貢献するための、ソフトウェア、エキスパート、ベストプラクティスを提供します。コンピュウェアのソリューションは、全世界のリーディングカンパニーが IT を最大限活用できるように支援しています。これらのリーディングカンパニーには、Fortune500 上位 50 社のうち 46 社や、米国の Web サイト企業上位 20 社のうち 12 社が含まれています。

- ・米コンピュウェアコーポレーション <http://www.compuware.com> (英語)
- ・日本コンピュウェア株式会社 <http://jp.compuware.com/> (日本語)

コンピュウェアは、Twitter、Facebookなどからも情報を配信しています。

- ・<http://twitter.com/compuware>（米国本社アカウント：英語）
- ・http://twitter.com/compuware_japan（日本コンピュウェアアカウント：日本語）
- ・<http://www.facebook.com/Compuware>（米国本社アカウント：英語）
- ・<http://outageanalyzer.com/>（Outage Analyzer：英語）

■ お問い合わせ先

・報道関係の方

日本コンピュウェア株式会社広報事務局（株式会社ジャパン・カウンセラーズ内）

TEL:03-3291-0118、Email:compuware@jc-inc.co.jp

・Compuware APM ソリューションをご検討の方

日本コンピュウェア株式会社営業部代表

TEL:03-5473-4531、Email:marketingjapan@compuware.com

※記載されているすべての製品名および会社名は各所有者の商標です。